

.....  
**館園名** : 亀岡市文化資料館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

- ・ 1985年11月01日

#### 所在地

- ・ 〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1番地

#### 公式サイト

- ・ <http://>

#### 設立主体

- ・ 亀岡市教育委員会

#### 運営主体

- ・ 亀岡市教育委員会

#### 設立目的

- ・ 亀岡の歴史・文化の調査研究・展示普及事業を行ない、市民の生涯学習のひとつの場を提供することを目的とする。

#### 展示概要

- ・ 常設展「亀岡の歴史と文化」考古・歴史・民俗の各分野で紹介。年2回の企画展と1回の特別展を開催。

#### 活動概要

- ・ 展示事業では常設展、企画展（2回）特別展（1回）ロビー展等開催。
- ・ 年間4回の連続講座開催・古文書入門専門講座（計5回）開催。  
(3回) (2回)
- ・ 友の会活動、子ども歴史学校活動。
- ・ 展示会図録刊行など。

#### 延床面積

- ・ 1,382㎡

#### 全職員数（常勤職員）

- ・ 2 (2) 4名 (2005年01月現在)

#### 年間運営費

- ・ 12,300,000円 (2003年度)

#### 総資料点数

- ・ 多数点 ( 年 月現在)

#### 施設その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：亀岡市文化資料館友の会

### 活動目的・経緯

- 平成元年に歴史・民俗・考古などに関する学習意識と知識を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて生涯学習の充実に資することを目的に設立。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- 89名（2005年01月現在）
- 男性： 名、女性： 名 統計的にっておりません
- 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

特に担当職としてはおりませんが、年度ごとに担当者を決定しています

- 部局名称：
- 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- 古文書勉強会、新修亀岡市史を読む会、友の会文化財研修会（春・秋）。
- サークル「城下町探訪」、サークル「綿づくり」、サークル「蚕」。
- 必要あれば古い道具等の解説ボランティア。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- 事務局は当館。2年任期で会長1名副会長2名、運営委員数名、監査2名を年1回の総会で選出。
- 年間費、（一般2500円、家族3500円）で募集、総会で予算決定報告。  
予算事業計画案、事業計画案を審議している。

### 関連する出版物

「友の会」による文化財調査の実施と報告書の刊行

- 平成5年度 『私たちの身近にある石造物を訪ねて－愛宕灯籠－』
- 平成7年度 『亀岡の水車』
- 平成10年度 『昔の子どもの遊び』
- 平成13年度 『消えたふるさとの音の風景』

### 関連するHP

- <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

.

## 活動個別シート 活動名：①古文書勉強会

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年09月

### ◇活動人数

- ・ 15～16名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ 友の会員内から古文書に関心のある会員による古文書の勉強会。

### ◇活動日

- ・ 毎月第3土曜日 14:00～16:00

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 研修室の利用。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 当初は歴史担当の学芸員が指導していたが、現在は会員の当番制・司会で運営。しかし、一応古文書なので学芸員が参加している。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 勉強会の記録化として、当番の会員が記録ノートを作成する。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会会員対象なので、会員へ随時募集と実施日を広報している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による講話や、当館所蔵の古文書の閲覧見学を随時行っている。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。自己負担として、資料代年間1人500円を別に徴収している。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 古文書解読には継続化が不可欠であり、成果をすぐには期待せず、着実に古文書への理解を深めてもらうよう工夫することが大きな課題。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：②新修亀岡市史を読む会

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年09月

### ◇活動人数

- ・ 10～15名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ の会員内から、新修亀岡市史に関心のある会員による輪読会。

### ◇活動日

- ・ 2～3ヵ月に1回、年間4～5回開催。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 研修室の利用。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 友の会員内より、興味のある巻と内容を選択してもらい、レジメを用意してゼミ方式のように発表し、その後会員で意見交換、感想などを発表しあう。一応発表者については、運営委員、会長等の役員に依頼しているが、一般会員の発表者もでてきている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会員対象なので、会員への随時募集と実施時を広報している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による講話や、内容によっては、フィールドワークも行っている。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 平成16年度に新修亀岡市史全8巻が刊行終了したので、今後さらに市民による市史活用の場としてそのレベルの向上と、会員参加をさらに呼びかけたい。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：③城下町探訪サークル

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年06月

### ◇活動人数

- ・ 約10名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ 友の会員内へ城下町を実際に歩くフィールドワークをするサークルへの呼びかけを行い開始する。

### ◇活動日

- ・ 2週間に1回程度、フィールド1時間意見交換30分。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 保険加入費（300円、自己負担）

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 当面は、学芸員主導で行っている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 本年度よりスタートしたので、今後は会員の自発性を高める交流をする必要がある。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会員対象なので、会員への随時募集と実施日を広報している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による現地案内・解説が主な内容。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険自己負担300円。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 今後は、このサークルの取り組みをどのように展開していくのか！？あまり館主導にしないよう注意して、サークル活動を継続したいと考えている。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ④綿づくりサークル

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年06月

### ◇活動人数

- ・ 2～3名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ 当館で平成14年度よりはじめた綿栽培が、一応うまくいったのを受けて平成15年度は、糸車によるつむぎ作業までできるようになった。それをさらに発展させたく会員を呼びかけ、2～3名ではあるが布までの行程をするべく活動している。月1回のペースで開催。

### ◇活動日

・

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ロビー等での作業。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 非会員ではあるが、市民の方で綿づくり、つむぎ、そめ、布づくりまでできる方が協力を申し出ていただき、その方の指導で現在は行っている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 地元京都府立亀岡高等学校日本文化コースの生徒2名が自主的に参加し、卒業作品として自らつむぎそめた綿で布を作製中。当館で中間発表を行う。（2004年11月）

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会員対象で、随時募集と実施日程を広報している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 非会員の方が講師となっていたりしている。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 簡易織機、綿に関する費用については当館が負担している。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 地元高校との連携として、友の会員のサークル活動と卒業制作をうまくタイアップすることができた。当館で、その他の日本文化コース各テーマについての中間発表もしていただいた。今後は、会員による綿づくりをさらに進めていきたい。もう少し会員を増す必要あり。

### ◇その他

・

## 活動個別シート 活動名：⑤蚕サークル

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年06月

### ◇活動人数

- ・ 1名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ 市民より蚕の印を寄贈されたことが契機で、2004年6月より当館で蚕を飼育するようになり、その育て方を友の会員へ呼びかけた所、仕事として蚕をしていた会員が1名おられ、7～8月に本格的に蚕を育てた。その過程で会員に呼びかけサークル化にしたが、今の所1名の参加ではある。

### ◇活動日

- ・

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ロビーの利用等→蚕を飼育展示として、小学生、見学者に見ていただけるようにしている。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 5～8月にかけて随時。現在は1名でいろいろお世話いただいている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 民俗担当の学芸員による記録化を随時行なっている。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 蚕が飼育している期間、会員への募集とその様子について紹介している。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ロビー展「カイコの世界」（2004/7/25～8/31）を開催し、その会員の方に講師となっていたき、講演会も開催した。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 講師の謝礼として図書券（5000円）。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 会員の人数の多さ少なさは、特に重要ではないと考えているが、会員へ蚕にまつわるアンケートを行い、この付近での蚕産業について考えるひとつのデータとならないかと考えている。参加会員の方ともアンケート内容について協議をし、学芸員とうまく調整して、実施したいと考えている。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：⑥文化財研修会

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1989年（平成元年）

### ◇活動人数

- ・ 30～40名（2005年01月現在）

### ◇活動内容

- ・ 春と秋にそれぞれ実施し、亀岡周辺および、近畿地方内で歴史・文化的な遺跡、文化遺産の見学研修を行なっている。

### ◇活動日

- ・ 年間2回（春と秋）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 当館職員が随行する。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 友の会役員会で行き先等を決定する。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会員対象のため、春と秋に募集を行なう。  
60名定員で6000円前後（自己負担）。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 単なる観光とならないように、見学先には博物館、資料館を入れ、その館の学芸員による講話も含めている。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 自己負担（6000円前後）。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 過去16年間実施しているため、行き先について、また会員の高齢化もあり、研修内容の見直しが必要な時期にきている。

### ◇その他

- ・ 以前は市のバスを利用していたが、経費削減のため、現在は自己負担が増加しても、一般観光バスを利用することとした。（会員にアンケート実施して、その点を了承してもらった。）



活動個別シート 活動名：⑦文化財調査実施と報告書刊行

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1992年より

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 友の会員による調査と報告書の刊行。

◇活動日

- ・ 2～3年に1回の割合で実施。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 編集会議のための研修室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 友の会員に呼びかけて、実行委員会を組織して会員参加型で運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会員対象で呼びかけて、実施。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員が指導、助言している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし（刊行費については、会費の積み立てと生涯学習かめおか財団より刊行費の助成金を受けて刊行した。）

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 「愛岩灯籠」、「水車」については、会員による実行委員会で会員による現地調査を実施、「昔の子どもの遊び」「音の風景」については、会員全員にアンケート調査実施、それを前提にまとめた。

.....

**館園名** : 京都芸術センター

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 2004 年 04 月 01 日

**所在地**

・ 〒604 ー8156 京都府京都市中京区室町通蛸薬師下ル山伏山町 546-2

**公式サイト**

・ <http://www.kac.or.jp>

**設立主体**

・ 京都市

**運営主体**

・ 財団法人 京都市芸術文化協会

**設立目的**

・ 京都に蓄積されてきたすぐれた伝統文化を現代に生かしつつ、美術、音楽、演劇などさまざまな分野の芸術が出会い新たなものを生み出す場として、さらにその成果を生活や技術、産業へとつなぐ場として構想された。

**展示概要**

・ 収蔵作品はないため、常設展示は行わない。企画展・公募展のみ。

**活動概要**

・ ジャンルを問わない若い世代の芸術家の支援、さまざまなメディアを用いた芸術文化に関する情報の収集と発信、アーティスト・イン・レジデンスとして受け入れる芸術家を中心とした、芸術家同士・または市民の交流の場の提供、を柱とする。

・ 各種講演、ワークショップなどの開催。喫茶明倫、図書室など。

・ diatext.などの発行。

**延床面積**

・ 5,209.2 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 14 名（ 2005 年 1 月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003 年度）

**総資料点数**

・ なし 点（ 年 月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

・さまざまな年代や状況の人がアートを支えたり携わったりできるよう、広く開いている。館が館にあわせたボランティアを育成するのではなく、ボランティアの自発性を大切にしながら、アートを理解し、サポートしていける人材を育成。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 208 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 40 名、女性：168 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： アートコーディネーター
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展覧会の作品監視。
- ・ 講演の受付、観客誘導。
- ・ ワークショップの受付・運営。
- ・ 図書室の運営（事前研修あり）。
- ・ 作家の製作補助。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 毎月第三土曜日に、ボランティアが企画している「ボランティア講座」を実施。またその後、ボランティアが主体的に開いているミーティングもあり。
- ・ ボランティアによる館内案内も実施。
- ・ その他、交流会、ハイキング、総会なども実施。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 博物館のボランティア研修を受けた人々。

## 活動個別シート① 活動名：展覧会の作品監視

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 208 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 作品の監視、来場者数カウント。

### ◇活動日

- ・ 毎日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアへ芸術センター通貨を発行し、一日一枚（500 円分）をとってもらっている。通貨はカフェでの飲食費、センター催しのチケット代などにあてられる。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 二時間交代。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎月第三土曜日。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 職員による説明会を受けたあと、登録後、研修や講座を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。他施設の展覧会の割引券や招待券などの特典あり。展覧会のオープニングパーティーに招待。

### ◇評価

- ・ 現在はなし、今後は検討中。

### ◇課題と展望

- ・ 作品は必ず解説が必要、ということではない。何を伝えるか、作品とお客さんとの間で何をどうすればいいかを今後は、研修や講座を通じて考えながらレベルアップしていけるようにしていきたい。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 京都国立近代美術館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1963年03月01日

**所在地**

・〒606-8344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町

**公式サイト**

・<http://www.momak.go.jp>

**設立主体**

・独立行政法人 国立美術館

**運営主体**

・独立行政法人 国立美術館

**設立目的**

・近代美術に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれに関連する調査研究及び事業を行う。

**展示概要**

- ・①企画展＝京都を中心に近代美術に大きな足跡を残した作家の回顧展、海外の巨匠の作品展や内外の美術工芸の幅広いジャンルにおいて現代の動向を紹介する展覧会を年 6~7 回開催している。
- ・②コレクション展＝当館に収蔵する約 7500 点の作品を年 10 回程度展示替えしながら紹介している。

**活動概要**

・上記展覧会の開催以外には、美術作品の収集・保管、調査・研究、教育普及、等の活動を行っている。

**延床面積**

・9,761.99 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・18名（2004年4月現在）

**年間運営費**

・635,027,000円（2003年度）

**総資料点数**

・7,494点（2004年3月現在）

**施設その他**

・本館。

## 2. ボランティア活動 名称：京都国立近代美術館ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・平成14年度より美術館業務のうちボランティア活動に適したものを選び、実施している。美術館活動の活性化とボランティア自身の精神的満足を目的としている。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・37名（2004年12月現在）
- ・男性：11名、女性：26名
- ・平均年齢60歳：男性60歳、女性60歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・部局名称：庶務課、庶務が区周普及係
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（ ）1名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・アンケート。
- ・ポスター等発送。
- ・資料整理。
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・<http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・京都市博物館ふれあいボランティア（虹の会）で美術関係の研修を受講した者の中から希望者を登録した。

## 活動個別シート 活動名：①アンケート

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 37 名（2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 国立美術館法人共通のアンケート調査を展覧会毎に 4 日間、計 400 名実施しており、全てボランティアの活動によっている。

### ◇活動日

- ・ 各展覧会（企画）の最終日を含む 4 日間に実施している。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要経費は 1 人 1 回 1,000 円の交通費相額のみ。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 入場者数にもよるが、1 日 5～6 名、3 グループをローテーションにしている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 今までは虹の会事務局に委託していたが、今後は当館独自で募集する予定。ホームページ等々。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 今までは虹の会で研修した人を受入れていたが、今後は当館の学芸員の協力を得ながら実施の予定。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費相当額を、1 人 1 回 1,000 円支給。

### ◇評価

- ・ 当館の場合、まじめでいねいな人が多く集まっているので、適切な指導をすれば上質な仕事をしてもらっている。

### ◇課題と展望

- ・ アンケート発送以外に、解説ボランティア等活動の幅を拡げ質を高めていきたい。学芸員の協力をえられるかどうか鍵となる。

### ◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②ポスター等発送（以下の内容はアンケートと同じ）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 37 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 国立美術館法人共通のアンケート調査を展覧会毎に 4 日間、計 400 名実施しており、全てボランティアの活動によっている。

◇活動日

- ・ 各展覧会（企画）の最終日を含む 4 日間に実施している。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要経費は 1 人 1 回 1,000 円の交通費相額のみ。

◇運営（シフト 等）

- ・ 入場者数にもよるが、1 日 5～6 名、3 グループをローテーションにしている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 今までは虹の会事務局に委託していたが、今後は当館独自で募集する予定。ホームページ等々。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 今までは虹の会で研修した人を受入れていたが、今後は当館の学芸員の協力を得ながら実施の予定。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費相当額を、1 人 1 回 1,000 円支給。

◇評価

- ・ 当館の場合、まじめでいいねいな人が多く集まっているので、適切な指導をすれば上質な仕事をしてもらっている。

◇課題と展望

- ・ アンケート発送以外に、解説ボランティア等活動の幅を拡げ質を高めていきたい。学芸員の協力をえられるかどうか鍵となる。

◇その他

- ・



.....

**館園名** : 京都国立博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1897年05月01日

**所在地**

・ 〒605-0931 京都府京都市東山区茶屋町 527

**公式サイト**

・ <http://www.kyohaku.go.jp>

**設立主体**

・

**運営主体**

・ 独立行政法人 国立博物館

**設立目的**

・ 文化財保護法に規定する有形文化財の収集・保管・展示・調査研究・教育普及を行い文化財の保存と活用を図る。

**展示概要**

・ 概ね近世までの美術工芸品を、展示室ごとに絵画・彫刻・考古・陶磁・書跡・工芸等の各分野にわたり、定期的に陳列替えを行いながら、年間約 2,000 件を展示。

**活動概要**

- ・ 平成 17 年度 特別展覧会予定
  - ・ 曾我蕭白―無頼という愉悦―（4月12日～5月15日）
  - ・ 龍馬の翔けた時代（7月16日～8月28日）
  - ・ 最澄と天台の国宝（10月8日～11月20日）

**延床面積**

・ 53,182 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 42 名（2005 年 1 月現在）

**年間運営費**

・ 1,768,926,000 円（2003 年度）

**総資料点数**

・ 12,356 点（2004 年 3 月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：解説ボランティア、調査・研究補助ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・大学との連携、来館者サービス。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 24名（2005年1月現在）
- ・ 男性：3名、女性：21名
- ・ 平均年齢24歳：男性25歳、女性22歳

### ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：学芸課教育室
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（専門分野ごとの研究員）5名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示会場での作品解説。
- ・ ②当館研究員が行う調査・研究の補助。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

- ・なし

### 関連するHP

- ・ <http://www.kyohaku.go.jp>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・大学との連携。

活動個別シート 活動名：①解説ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・2000年

◇活動人数

- ・18名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・展示会場での解説。

◇活動日

- ・平成16年10月19日～11月18日（火・水・木）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・3班に分かれ、1日6名程度で解説。

◇交流（情報、組織 等）

- ・全員参加の説明会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・京都橘女子大学での講義受講者。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・京都橘女子大学での講義（13コマ）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・東京・京都・奈良国立博物館の入館料が無料。ボランティア保険加入（費用は大学）。

◇評価

- ・大学での成績評価。

◇課題と展望

- ・当館担当職員の負担が大きい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②調査・研究ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 6 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 当館研究員が行う収蔵品・社寺等の調査・研究業務の補助。

◇活動日

- ・ 1 年間のうち、適宜活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 交通費分。

◇運営（シフト 等）

- ・ 必要に応じて活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 大学等で美術史など専門的な知識を有していること。  
適宜募集。任期 1 年（更新あり）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 専門分野に応じて、当館研究員が 1 名指導員をつとめる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 東京・京都・奈良国立博物館の入館料が無料。交通費補助。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 特になし。

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 京都市青少年科学センター

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1969年05月05日

**所在地**

・〒613-0024 京都市伏見区深草池ノ内町13

**公式サイト**

・<http://www.edu.city.kyoto.jp/science/>

**設立主体**

・京都市

**運営主体**

・京都市（市民科学事業について（財）京都市生涯学習振興財団に委託）

**設立目的**

・科学者精神—科学的なものの見方、考え方、扱い方など「科学の方法」及びこれを活用する心構え—を体得した将来の市民を育てること。

**展示概要**

- ・展示場には、自主開発した科学に関する100点余りの展示品があり、そのほとんどは実際に触ったり、体験したりできるものである。
- ・屋外園には植物、岩石を設置し、チョウの家の公開もおこなっている。
- ・プラネタリウムは季節ごとにテーマを替え、投映をおこなっている。

**活動概要**

- ・夏休み特別展の実施。
- ・市民サイエンス教室、子どものための講演会、市民天体観望会、大人のための科学教室の実施。

**延床面積**

・9,675 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・48名（16年12月現在）

**年間運営費**

・169,920,000円（2003年度）

**総資料点数**

・41,116点（16年3月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：①天文ボランティア ②サイエンス・ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・科学センターの展示場及び市民天体観望会を活動の場とするボランティア制度を導入することにより、充実した入館者サービスが行える魅力的な科学博物館を目指すとともに、ボランティア参加者の自己研鑽、社会教育貢献の機会とする。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 25（16年8月現在）
- ・ 男性：11名、女性：14名
- ・ 平均年齢58.25歳：男性59歳、女性57.5歳

### ボランティア担当職員（17年1月現在）

- ・ 部局名称：市民科学事業課
- ・ 担当人数：常勤職員                      名・その他（                      ）                      名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①市民天体観望会での望遠鏡操作等。
- ・ ②夏休み特別展示会場における案内・工作補助・解説等。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ①館による運営。
- ・ ②「京都市博物館ふれあいボランティア」の会員に依頼。

### 関連する出版物

- ・ 特になし

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

## 活動個別シート 活動名：①天文ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 7 名（16 年 12 月現在）
- ・ 男性：5 名、女性：2 名
- ・ 平均年齢 52 歳：男性 50 歳、女性 60 歳

### ◇活動内容

- ・ 「市民天体観望会」事業での望遠鏡の操作等。

### ◇活動日

- ・ 年間 7 回、時間は 18:00～21:00 と 17:30～20:30（冬季）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 市民天体観望会実施時に各回 3 名。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当センターで実施した天文ボランティア養成講座参加者のうちの希望者。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 当センターで、望遠鏡の操作について研修会を開催している。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 図書券 1,000 円／1 回、保険加入はしていない。

### ◇評価

- ・ 熱心に意欲的に活動されている。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアの重要性は今後ますます高まってくるので、参加者の公募などに力を入れていきたい。ただ、ボランティア希望者が必ずしも科学的専門知識があるわけではないので、研修制度を充実させ、全体のレベルアップを図っていく必要がある。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：②サイエンス・ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 18 名（16 年 8 月現在）
- ・ 男性：6 名、女性：12 名
- ・ 平均年齢 59 歳：男性 68 歳、女性 55 歳

### ◇活動内容

- ・ 夏休み期間中に開催する特別展示会場における案内・工作補助・解説等。

### ◇活動日

- ・ 夏休み期間中（7 月 21 日～8 月 31 日）

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 午前の部と午後の部の 2 班編成。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 「京都市博物館ふれあいボランティア」事務局より会員に広報し、希望者が科学センターに直接申し込む。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 「京都市博物館ふれあいボランティア」事務局による研修。
- ・ 科学センター職員による特別展会場の展示内容等に関する事前研修。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 図書券 1,000 円／1 回、保険加入はしていない。

### ◇評価

- ・ 熱心に意欲的に活動されている。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアの重要性は今後ますます高まってくるので、参加者の公募などに力を入れていきたい。ただ、ボランティア希望者が必ずしも科学的専門知識があるわけではないので、研修制度を充実させ、全体のレベルアップを図っていく必要がある。

### ◇その他



.....

**館園名** : 京都市美術館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1933 年 11 月 01 日

**所在地**

・ 〒 606-8344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町岡崎公園内

**公式サイト**

・ <http://www.city.kyoto.jp/bunshi/kmma/>

**設立主体**

・ 京都市

**運営主体**

・ 京都市

**設立目的**

・ 近・現代美術の収集と展覧、独自の調査研究、普及活動、作家活動の助成など、現代の美術・文化の振興に貢献する。

**展示概要**

・ 明治以降の京都を中心とした美術・工芸品を収蔵、常設展示にて広く公開する。

**活動概要**

- ・ 常設展のほか、特別展、公募展（「京展」「日展」）、共催展の開催。
- ・ 資料の収集、保存、調査、研究。
- ・ 市民美術講座、ワークショップ、絵画教室の開催（京都市からの委託。「アートフレンド事業」）。「美術館ニュース」「美術館年報」の発行。普及活動の一環として、友の会。

**延床面積**

・ m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 13 名（ 2005 年 1 月現在）

**年間運営費**

・ 272,798,000 円（2003 年度）

**総資料点数**

・ 2011 点（ 2004 年 3 月現在）

**施設その他**

・ 平成 12 年に別館が完成。

## 2. ボランティア活動 名称：京都市博物館ふれあいボランティア

### 活動目的・経緯

・「京都市博物館ふれあいボランティア」の活動の一環として「虹の会」のメンバーから希望者を募り、コレクション展（常設展）の監視業務をボランティア活動として依頼している。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 39 名（ 2004 年 5 月現在）
- ・ 男性： 12 名、女性： 27 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ コレクション展（常設展）監視業務。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

## 活動個別シート① 活動名：監視業務

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

### ◇活動人数

- ・ 39 名（ 2004 年 5 月現在）

### ◇活動内容

- ・ コレクション展（常設展）の監視業務。

### ◇活動日

- ・ 常設展開催日（休館日をのぞく会期中）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 会期が始まる前に活動日を登録。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 会期初日に展覧会内容・注意事項等についてレクチャー。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 活動一回ごとに 500 円の図書券支給。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 京都府京都文化博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日**

- ・ 1988年10月01日

**所在地**

- ・ 〒604-8183 京都府京都市中京区三条高倉

**公式サイト**

- ・ <http://www.bunpaku.or.jp>

**設立主体**

- ・ 京都府

**運営主体**

- ・ (財) 京都文化財団

**設立目的**

- ・ 京都の歴史と文化を分かりやすく紹介する総合的な文化施設として設置。

**展示概要**

- ・ 歴史、美術・工芸、映像、民俗、考古資料を収蔵・展示。
- ・ 戦前から昭和40年代にかけての名作日本映画を上映。
- ・ 重要文化財の旧日銀京都支店を保存公開。
- ・ 幕末の商家の町並みを復元（「ろうじ店舗」）。

**活動概要**

- ・ 特別企画展を年8回ほど開催。
- ・ 歴史、民俗、美術・工芸、映像などの文化資料および作品の調査研究、収集、展示公開。
- ・ 展覧会図録、年報、研究紀要などを発行。

**延床面積**

- ・ 15,827 m<sup>2</sup>

**全職員数**

- ・ 25名

**年間運営費**

・

**総資料点数**

- ・ 館蔵資料：約130点（発掘資料を除く）
- ・ 管理資料：約51,000点

**その他**

- ・ 別館（旧日本銀行京都支店）のリニューアル計画が進行中。2005年春、リニューアルオープン予定。

## 2. ボランティア活動 名称：英語ボランティア「MOKの会」

### 活動目的・経緯

- ・ 京都府長寿社会政策室による、文化施設への生涯学習ボランティア導入の呼びかけをきっかけとして、1993年10月、2階歴史展示室における英語ボランティアの募集が行われた。応募者の中から30名を選考した後、養成講座などを経て、翌1994年4月より外国人に対する英語案内ボランティア活動が開始された。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 33名（2004年）
- ・ 男性：7名、女性：26名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課学習普及担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①英語による解説案内。

### 活動その他

- ・ 会員のスケジュールなどの事情で、1ヶ月のうち数回ボランティアのいない時間帯ができる。
- ・ 年度始めに総会、年に4回例会を開いている。
- ・ 近年、外国人来館者の数が増え、英語ボランティアの活動も多くなっている。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・ 京都府立植物園「なからぎの会」、京都府立堂本印象美術館「きぬかけの会」、京都府立山城郷土資料館「いずみの会」とともに、生涯学習文化施設ボランティア連絡会議を年1回開催、ボランティアどうしの意見交流を図っている。

## 活動個別シート ①英語による解説案内

### ◇活動開始年

- ・ 1994年

### ◇活動人数

- ・ 33名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 外国人を対象に英語により解説案内。

### ◇活動日

- ・ 開館日。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア専用控え室あり。
- ・ 各展覧会の図録(1人1部)、特別優待券を贈呈。
- ・ ネームプレート支給。

### ◇運営(シフト 等)

- ・ リーダー会議(会長1名、副会長2名)で、年間活動予定などを決定。
- ・ 当番シフトは、会員どうして希望日を挙げて決定している(常時1~2人が館のボランティア室に待機。10:00~14:00、14:00~18:00の2交替制)。
- ・ 1人1ヶ月に2~3回活動。
- ・ 年会費:1人1,000円。

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ 府内4施設合同の生涯学習文化施設ボランティア連絡会議、文化イベントなどに参加。
- ・ 年度はじめに総会、年4回例会を開催。
- ・ 連絡ノートを作成。
- ・ 活動予定表を月1回各人に送付。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 欠員補充がある場合、府の広報誌などを通じて募集を行う。
- ・ 会員の推薦により、新規入会を認める場合もある。
- ・ 入退会は、会の承認により決定する。
- ・ 任期・定年なし。

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 入会時に、展示内容や施設について、学芸員・館職員による講義・研修を行う(約2日間)。
- ・ 年4回の例会時に学芸員による講義を行う(約1時間)。
- ・ 年1回、館外で見学研修会を開催(寺院見学、能鑑賞等)。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険(1人1年、500円)に加入。
- ・ 過去の展覧会図録を割引販売する。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 限られた時間の中で、より分かりやすく京都の歴史と文化を伝え、「また来たい」と思えるようなサービスの充実を図っていきたい。また、現在は2階展示室のみの英語案内だが、今後活動の場所をもっと拡げていきたい。

### ◇その他

・

.....

**館園名** : 京都府立堂本印象美術館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日

- ・ 1966年10月15日（1992年4月15日、京都府立堂本印象美術館として再スタート）

#### 所在地

- ・ 〒603-8355 京都府京都市北区平野上柳町 26-3

#### 公式サイト

- ・ <http://www2.ocn.ne.jp/~domoto/>

#### 設立主体

- ・ 京都府

#### 運営主体

- ・ 財団法人京都文化財団

#### 設立目的

- ・ 社団法人堂本印象美術館から寄付を受けた作品等、堂本印象に関する美術品等を展示し、観覧に供することにより、京都における美術の振興に資するため。

#### 展示概要

- ・ 堂本印象の初期から晩年に至る日本画のほか、陶芸品、彫刻など、約 2,100 点を収蔵。

#### 活動概要

- ・ 企画展を開催。
- ・ 図録、絵はがき、一筆箋、テレホンカードなど、オリジナルグッズを販売。

#### 延床面積

- ・ 1,233 m<sup>2</sup>

#### 全職員数

- ・ 12名（臨時職員を含む）

#### 年間運営費

- ・ 81,574千円（2003年度）

#### 総資料点数

- ・ 約 2,100 点

#### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：きぬかけ会

### 活動目的・経緯

- ・ 1993 年度に、京都府が生涯学習ボランティア（博物館等）の養成を行い、28 名の会員でスタートした。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 20 名（2004 年）
- ・ 男性：3 名、女性：17 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 55 歳：男性 65 歳、女性 53 歳（2004 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務課 担当人数：常勤 名・その他（非常勤）1 名

### 活動の種類

- ・ ①解説・案内、②特別行事への協力。

### 活動その他

- ・ 随時募集。
- ・ 自主研修、および館による研修を実施。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・



## 活動個別シート ①解説・案内

### ◇活動開始年

- ・ 1994年

### ◇活動人数

- ・ 20名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 展示室の監視、解説、および館内の案内。

### ◇活動日

- ・ 木、金、土、日曜日、祝日の10:00~16:00。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

### ◇運営(シフト 等)

- ・ 午前、午後、各1名。

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月1回、例会を実施。
- ・ その他、連絡ノートを作成。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的な募集は行っていない。

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員が、展示替えにともなう研修を、年3回実施。
- ・ 例会において、自主的な研修を実施。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 企画展ごとに、招待券(各10枚)を配布。
- ・ ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。

### ◇評価

- ・ 来館者には、展示解説は喜ばれている。

### ◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化してきているため、新しい活動に取り組めない。

### ◇その他

・

## 活動個別シート ②特別行事への協力

### ◇活動開始年

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 20名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 「美術館魅力探索」など、特別行事での活動。

### ◇活動日

- ・ 5月、11月の日曜日、各1回。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

### ◇運営(シフト 等)

- ・ 参観者4~5人に、ボランティア1名が案内。

### ◇交流(情報、組織 等)

・

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

・

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入(費用は館が負担)。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 参加者には大変好評で、館としても今後継続して実施していきたい。

### ◇その他

・

.....  
**館園名** : 京都府立山城郷土資料館 (愛称: ふるさとミュージアム山城)

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日 (西暦)

- ・ 1982年06月17日

#### 所在地

- ・ 〒619-0204 京都府相楽郡山城町大字上狛小字千両岩

#### 公式サイト

- ・ <http://www1.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/>

#### 設立主体

- ・ 京都府教育委員会

#### 運営主体

- ・ 京都府教育委員会

#### 設立目的

- ・ 南山城市域の特色ある歴史・考古、民俗資料等の保存及び活用を図り、府民の文化的向上に資する。

#### 展示概要

- ・ 南山城の歴史・考古・民俗資料などを収蔵。
- ・ 常設展示「南山城の歴史と文化」。

#### 活動概要

- ・ 資料の調査、研究、収集、整理、保存、考古遺物の保存処理。
- ・ 特別展、企画展、文化財講座、体験歴史教室、文化財見学会、文化財相談を開催。
- ・ 友の会、ボランティア「いずみの会」が活動。

#### 延床面積

- ・ 2,970 m<sup>2</sup>

#### 全職員数 (常勤職員)

- ・ 8名 (派遣職員を含む。)

#### 年間運営費

- ・ 29,685,000円 (2003年度)

#### 総資料点数

- ・ 46,150点 ( 年 月現在)

#### 施設その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：文化施設生涯学習ボランティア「いずみの会」

### 活動目的・経緯

- ・ 京都府生涯学習ボランティア養成講座（平成 13 年度まで毎年実施）の受講修了者で活動の趣旨に賛同された方が、平成 6 年に会を設立し、その後も随時加入。  
近年は、同講座の修了者以外にも会員の 3 分の 2 以上の賛同を得た方は入会。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 21 名（2004 年）
- ・ 男性：13 名、女性：8 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）…不明

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務課 担当人数：常勤 1 名・その他（非常勤嘱託） 1 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①解説、②館事業に対する協力、③環境整備活動。
  - (1) 来館者に対する展示案内及び解説等（15 年度には述べ 2,418 人を案内等）。
  - (2) 資料館の普及活動に対する協力。
  - (3) 図書・新聞等各種資料の整理。
  - (4) 館内外の環境美化。
  - (5) 会員相互の研修活動。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

### 関連する出版物

- ・ なし

### 関連するHP

- ・ <http://www1.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/boranntia.htm>

活動個別シート 活動名：①解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994

◇活動人数

- ・ 21名（2004年）
- ・

◇活動内容

- ・ 常設展、特別展、企画展での歴史・文化解説。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 無

◇運営（シフト 等）

- ・ 土・日・祝は当番制により対応。  
また団体等の来館時には別途対応している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年1回の総会、年数回の役員会、京都府生涯学習ボランティア連絡会に加盟。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資料館の展示案内チラシやホームページで広報。  
また、16年度はボランティア養成講座も開催予定。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月1回自主研修を行っている。（他の施設や文化財等の見学が中心）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無。

◇評価

- ・ 館の運営に必要不可欠な存在である。

◇課題と展望

- ・ 会員数が、高齢化等により減少傾向にあり、新規会員の確保が課題である。

◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：②館事業に対する協力

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994年

### ◇活動人数

- ・ 21名（2004年）

### ◇活動内容

- ・ 常設展、特別展、企画展での歴史・文化解説。
- ・ 子どもの体験学習などの館事業に対する協力活動。

### ◇活動日

- ・ 随時。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 事業に必要な人員が対応。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年1回の総会、年数回の役員会、京都府生涯学習ボランティア連絡会に加盟。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資料館の展示案内チラシやホームページで広報。  
また、16年度はボランティア養成講座も開催予定。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月1回自主研修を行っている。（他の施設や文化財等の見学が中心）。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無。

### ◇評価

- ・ 館の運営に必要不可欠な存在である。

### ◇課題と展望

- ・ 会員数が、高齢化等により減少傾向にあり、新規会員の確保が課題である。

### ◇その他

- ・

.....

**館名** : 京の田舎民具資料館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1987年12月01日

**所在地**

- ・ 〒607-8107 京都府京都市山科区小山小川町2

**公式サイト**

- ・ <http://>

**設立主体**

- ・ 個人（竹谷誠一）

**運営主体**

- ・ 個人（竹谷誠一）

**設立目的**

- ・ 江戸時代以降～近代（昭和40年頃迄）の京都近郊の庶民の生活を民具の面から注目し、収集展示する。特に小学生の学習の参考に寄与する。

**展示概要**

- ・ 仕事（農・商・山仕事）生活（衣・食・住）その他（運搬等）の分野別に展示。

**活動概要**

- ・ 民具の収集・展示。
  - ①特に小学生の社会科・総合学習等の関連。
  - ②生涯学習（PTA、女性会、老人会）等の見学。
- ①、②等を重視。

**延床面積**

- ・ 338㎡

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 2名（16年02月現在）

**年間運営費**

- ・ 2,600,000円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 約5,000点（16年12月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：企画協力委員会

### 活動目的・経緯

- ・ 年4回実施するテーマ展示の選定・展示に協力して頂く。館長の友人中心に、何らかの文化活動に関わりのある人に依頼。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（16年12月現在）
- ・ 男性：3名、女性：3名
- ・ 平均年齢 歳：男性75歳、女性65歳

### ボランティア担当職員（16年02月現在）

- ・ 部局名称：館長
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ テーマ展示の企画。（会議）
- ・ 展示・清掃等。
- ・ 研修会への参加。（他館への見学等）

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・



活動個別シート 活動名：①企画協力委員会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1989 年

◇活動人数

- ・ 6 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ テーマ展の企画。展示。
- ・ 入館者への説明。

◇活動日

- ・ 年間 4、5 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特に定めていないが、懇親会の補助程度。¥

◇運営（シフト 等）

- ・ 企画会議、見学会は全員都合の良い日に実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 住所が近隣のため随時。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 任期、一応 2 年間、開始以来 1 名の交換があったのみ。
- ・ 選考・依頼は館より依頼。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 研修は見学研修のみ、他館の見学と反省会。  
(日帰りが原則、5 年毎に宿泊)

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 反省会の食費補助のみ。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 現在の委員、特に男性の高齢化の為、替わりの適当な人がいない。  
(民具についての知識があり、文化的な活動に関心のある人)

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 泉屋博古館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1960年07月23日

**所在地**

・〒606-8431 京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮の前町24

**公式サイト**

・<http://www.sen-oku.or.jp>

**設立主体**

・住友吉左衛門

**運営主体**

・(財) 泉屋博古館

**設立目的**

・住友家が蒐集した美術品を展示公開する。

**展示概要**

・「1号館」中国古代の古銅器を常設展示。

・「2号館」古銅器以外の美術品を、春・秋の2シーズンに分けて企画展示。

**活動概要**

・収蔵品を中心に美術品を展示。

**延床面積**

・4094 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・8名（2004年12月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003年度）

**総資料点数**

・ 点（ 年 月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：泉屋博古館ふれあいボランティア

### 活動目的・経緯

・常設展示品である中国古代青銅器の魅力を見学者の方に知っていただくとともに、展示品の解説の為の学習を通じてボランティアの方々の生涯学習に寄与する。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年12月現在）
- ・ 男性：11名、女性：9名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：管理課
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 事前研修。（3時間／回×8回）
- ・ 展示品案内。（開催日は毎日）
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 京都市博物館ふれあいボランティア（虹の会）

## 活動個別シート 活動名：泉屋博古館ふれあいボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年 8 月～

### ◇活動人数

- ・ 20 名（2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 常設展示館の展示品案内（解説）

### ◇活動日

- ・ 開催日は毎日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 平日 2 名、土曜日 4 名。午後 1 時～4 時の間活動。

活動希望日の連絡を受けて、事務局にて調整。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 当館に対する要望などをまとめて、活動報告書を提出してもらっている。それに対する回答を定期的にとりまとめ、全員に配布。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 京博連事務局を通じて募集。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修 8 回、フォローアップ研修 2 回／年程度。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費 1000 円支給。

### ◇評価

- ・ ボランティア参加者、美術館来館者共に喜んでいただけている。

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 京エコロジーセンター

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2002年04月21日

### 所在地

- ・ 〒612-0031 京都府京都市伏見区深草池ノ内町13

### 公式サイト

- ・ <http://www.miyako-eco.jp>

### 設立主体

- ・ 京都市

### 運営主体

- ・ (財)京都市環境事業協会

### 設立目的

- ・ 地球温暖化防止京都会議(COP3)を記念し、身近なごみ問題から地球規模の環境問題まで、幅広い視点に立った「環境意識」の定着を図り、あらゆる場所で環境にやさしい活動の輪を広げる。

### 展示概要

- ・ エコロジー体験コーナー、常設展示「気づきと学びのひろば」、企画展示・ワークショップコーナーなど。
- ・ 建物に、環境にやさしい様々な工夫がなされており、建物自体が1つの展示になっている。

### 活動概要

- ・ エコクッキング教室、エコクラフト教室、各種セミナーなどを開催。

### 延床面積

- ・ 2,700 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 20名

### 年間運営費

- ・ 約180,000,千円

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：エコメイト

### 活動目的・経緯

- ・ 2002年4月、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 107名（2004年）
- ・ 男性：48名、女性：59名（2004年）
- ・ 平均年齢54.6歳：男性57.5歳、女性52.3歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学習事業課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①展示解説・案内、②教育普及事業の企画運営等。

### 活動その他

- ・ 打合せ会を実施。
- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 館により運営。

### 関連する出版物

- ・ 「京エコセンだより」

### 関連するHP

- ・ <http://www.miyako-eco.jp>

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・

## 活動個別シート ①展示解説・案内

### ◇活動開始年

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 107名（2004年）

### ◇活動内容

- ・ 一般来館者を対象に、展示を使った環境学習を实践する。
- ・ よりよい案内ができるように、展示の改善や学習プログラムの開発を進めている。

### ◇活動日

- ・ 金曜日～水曜日の9:00～17:00。毎日活動（休館日＜木曜日＞を除く）。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ミーティングおよび作業スペースの確保（ボランティアルーム含）。
- ・ 印刷機、文具利用可。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 8:55～12:00、11:50～14:55、14:45～17:20の3交替制。
- ・ テーマ別に活動チームを設け、展示改善、運営の企画を進めている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアが、メールマガジンを発行。
- ・ チーム別に、郵送、FAX、メールリングリストで情報交換。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年8～9月頃に募集。対象：18歳以上。人数：20～40名。
- ・ 半年間の研修あり（月1回）。定年制なし。任期3年。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が、登録後の研修（コミュニケーション、環境問題現状、環境学習プログラム体験・立案、月1回）を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を補助。
- ・ ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ シフト後のミーティングにて活動状況を聞き、職員よりフィードバック。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアによる自主組織の立ち上げ、任期終了後の活動体制の整備が課題。
- ・ 各自のスキルアップをいかに図るかが課題。

### ◇その他

## 活動個別シート ②教育普及事業の企画運営等

### ◇活動開始年

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 107 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 子どもから大人まで、来館者を対象に、環境問題の啓発や、環境保全につながるライフスタイルの普及を目指したイベントを企画・実施。

### ◇活動日

- ・ おもに日曜日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ イベント用備品の予算あり。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ テーマ別にチームを設け実施。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアが、メールマガジンを発行。
- ・ チーム別に、郵送、FAX、メーリングリストで情報交換。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 8～9 月頃に募集。対象：18 歳以上。人数：20～40 名。
- ・ 半年間の研修あり（月 1 回）。定年制なし。任期 3 年。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が、登録後の研修（コミュニケーション、環境問題現状、環境学習プログラム体験・立案、月 1 回）を実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費を補助。
- ・ ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ シフト後のミーティングにて活動状況を聞き、職員よりフィードバック。

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアによる自主組織の立ち上げ、任期終了後の活動体制の整備が課題。
- ・ 各自のスキルアップをいかに図るかが課題。

### ◇その他

- ・



.....

**館名** : 向日市文化資料館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1984年11月03日

**所在地**

- ・ 〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40-1

**公式サイト**

- ・ <http://www.city.muko.kyoto.jp/> （向日市 HP）

**設立主体**

- ・ 向日市

**運営主体**

- ・ 向日市

**設立目的**

- ・ 歴史資料・民俗資料等を収集し、保存および展示し、もって新しい文化の創造と発展に寄与するため、古代の都城“長岡京”の宮跡の一角に遷都 1200 年を記念して建設された。

**展示概要**

- ・ 長岡京に関する資料を一同に集め展示しています。各階級の人物像を中心にそれぞれの果たした役割、仕事内容を考古資料や絵図を使って常設展示しています。その他ラウンジでは季節ごとにテーマをきめて展示しています。

**活動概要**

- ・ 文化講演会。
- ・ 日曜談話会。
- ・ 夏休み子供歴史教室。
- ・ 史跡めぐり。
- ・ 資料館アニメーターによる常設展示案内等。
- ・ むこうまち歴史サークル（1 班～4 班）。
- ・ ワークショップ模型制作工房など。

**延床面積**

- ・ 1,048 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 3 名（2005 年 01 月現在）

**年間運営費**

- ・ 27,000,000 円（2003 年度）

**総資料点数**

- ・ 不明 点（ 年 月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：向町文化資料館アニメーター

### 活動目的・経緯

- ・ 小学校児童や団体見学者への常設展示案内や部分的に市内史跡案内などを実施（平成 14 年 06 月から学校土曜日休日に対応するため、土曜は交替で案内している）。
- ・ 内部で資料整理・展示にあたるグループもある。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 16 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：6 名、女性：10 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：向日市文化資料館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 常設展示案内・解説。
- ・ 状況にあわせて市内史跡案内。
- ・ 収蔵資料の整理・展示補助。
- ・ 資料館主催事業への協力（夏休み子供歴史教室、歴史ウォークなど）。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 月 1 回（第 1 木曜日）定例会を開催し、相互協力を図る。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①常設展示案内・解説（史跡案内含む）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 10名（2005年01月現在）（※編集者注：人数が合わない）

◇活動内容

- ・ 常設展示、特別展示の解説。

①常設展示に加えて史跡案内・解説。

◇活動日

- ・ 毎週土曜日（団体見学等については事前調整要す）。
- ・ 上記①の場合は休館日を除く（事前調整要す）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日2人（午前・午後1人ずつ）で交替。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月1回定例会（第1木曜日）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（夏頃、アニメーターによる）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険加入（市負担）。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 館外の史跡案内と合わせての依頼が増えているが、人数が少ないため対応に苦慮する場面がある。

◇その他

- ・ 人員が少しずつは増えているが、ニーズの方が上まわっている感じがあり実質活動メンバーの増員が課題。

## 活動個別シート 活動名：②収蔵資料の整理・補助

※特に組織的にこの活動と常設展示案内の活動とか明確に分かれているわけではありません。グループとしては一緒に活動し、主にこの仕事にあたる人もいれば、展示案内が主という人もありますので多くの項目は前のシートと一緒にあります。異なる部分のみ記入します。

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 4 名（2005 年 01 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 新規収蔵資料（主に民俗資料）のクリーニング、受け入れ作業。
- ・ 収蔵資料の整理。
- ・ ラウンジ展示の補助（時には企画運営）。

### ◇活動日

- ・ 特に決めず。必要のある時に調整の上、活動。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 資料としての取り扱いについての研修の必要性とボランティアとしての意欲の育成とのバランス。
- ・ どこまで任せるか、どこまでボランティア（＝市民）の感覚を尊重すべきか、という点が難しい。

### ◇その他